

21/3 期は 20.2%増収、利益大幅増、22/3 期も電子機器拡大で 1.0%減収も 13.7%増収も 13.7%増収も

株価 (5/26) 3065 円 時価総額 86 億円 発行済株 2830 千株

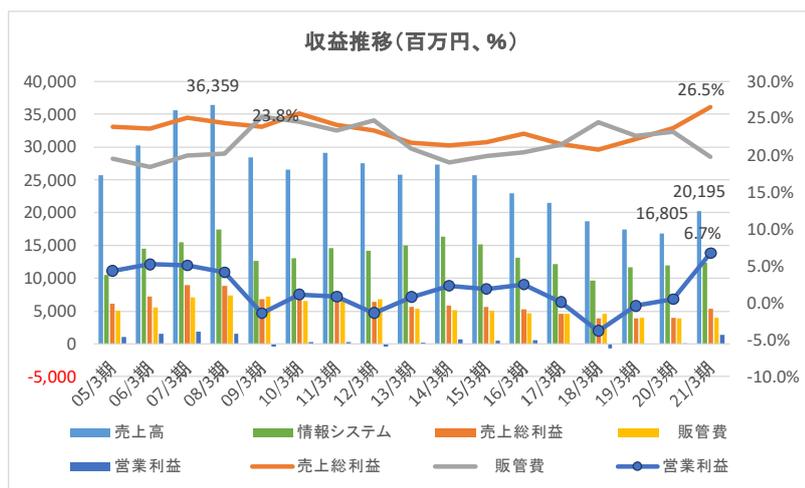
PER (22/3DO 予 6.3X) PBR (0.9X) 配当 (22/3 予) 0 円 配当利回り : -

要約

- 21/3 期 20.2%増収、営業 13.63 億円 (16 倍)、受注 33.6%増とコロナ対策、5G で上伸
- 22/3 期 1%減収 13.7%増収予想も、5G、コロナ対策等で電子機器拡大から収益増額期待
- 株価は 22/3 期増収予想も増額含みで 2017 年高値 4070 円を目指す動きに

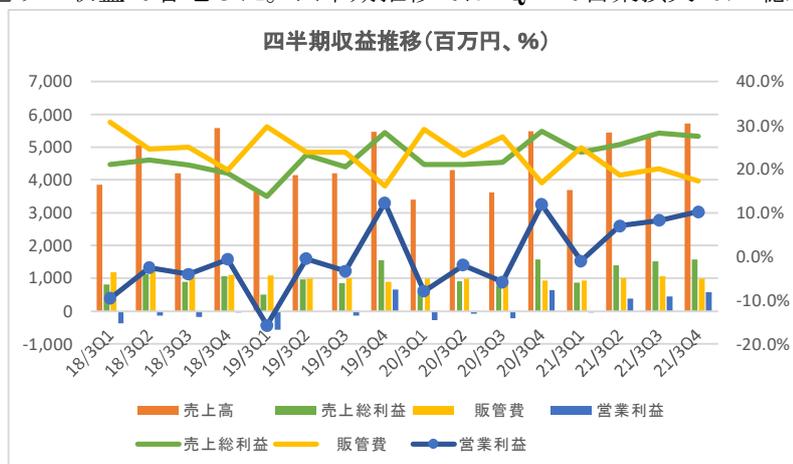
21/3 期 20.2%増収、営業 13.63 億円 (16 倍)、受注 33.6%増とコロナ対策、5G で上伸

21/3Q3 決算が 5/26 に開示された。21/3 期業績は売上高 201.95 億円 (20.2%増)、営業 13.63 億円 (12.80 億円改善)、経常利益 12.89 億円 (12.64 億円改善)、税引利益 10.30 億円 (9.54 億円改善)、受注 216.73 億円 (33.6%増)、受注残 99.16 億円 (17.5%増)



と 3/12 の増額修正予想通りの収益で着地した。四半期推移では Q1 で営業損失 0.4 億円

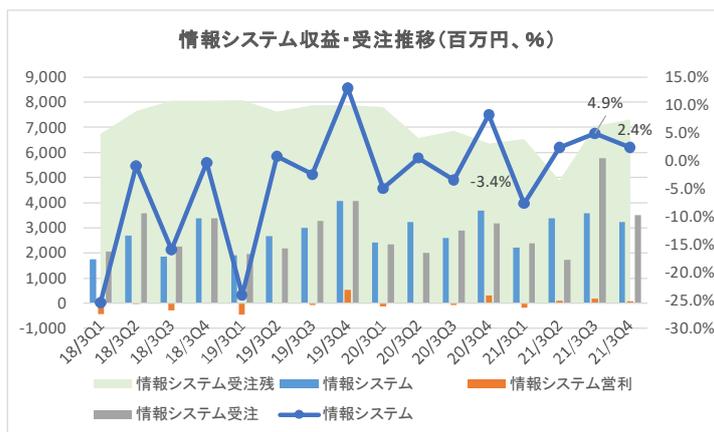
(3.11 億円改善)、Q2 は営業 3.82 億円 (4.67 億円改善) と黒字転換、Q3 が 4.38 億円、Q4 が 5.83 億円と勢いが増している。



セグメント別では情報システムが売上高 123.96 億円 (4.0%増)、営業 1.66 億円 (46.9%

[ここを入力]

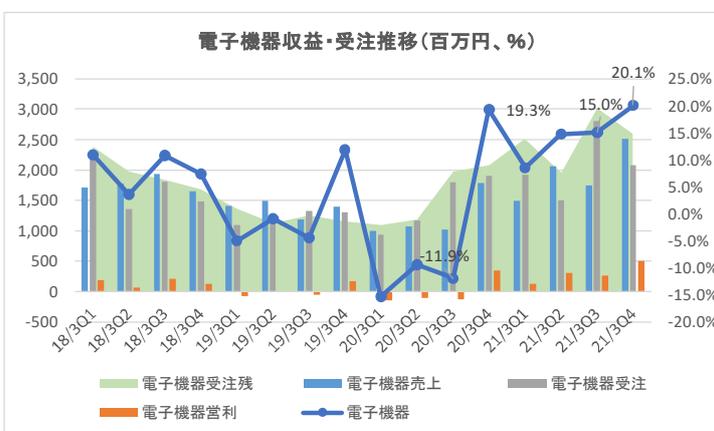
増)、受注 133.59 億円 (28.3% 増)、受注残 73.21 億円 (15.2% 増)。防衛庁の国内調達が低調な中で、NEC から独立し、NEC 競合企業等でも受注拡大活動が功を奏した。利益面ではコスト・納期改善等で利益率改善を図り、営業利益率が 0.4 ポイント改善し 1.3% に。



電子機器は売上高 77.98 億円 (59.7%増) 営利 11.96 億円 (12.25 億円改善、黒字転換)、

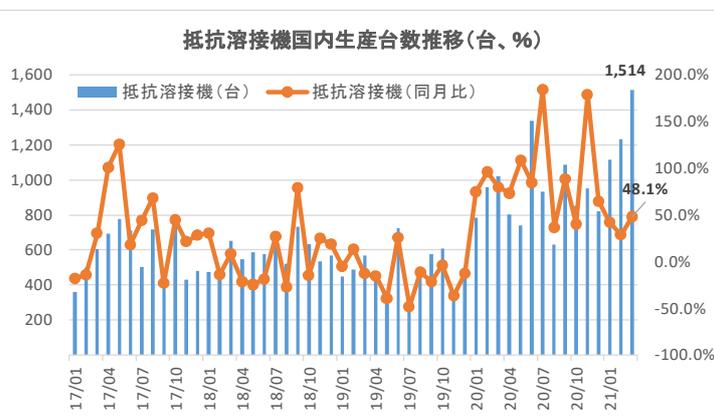
受注 83.13 億円 (43.2%増)、受注残 25.94 億円 (24.8%増)

に。主力の接合機器が内海の 5G 基地局関連向けに好調に推移、赤外線機器もコロナ感染対策需要で発熱者スクリーニングニーズが拡大した。電子機器全体で輸出が 37.35 億円 (2.2 倍) と、こちらは主に抵抗器の伸長、国内は 40.63 億円 (27.8%増) と、こちらは国内 7 割シェアの赤外線サーモグラフィカメラがコロナ対策で伸長したことが寄与した。利益面では原価改善、諸経費削減から大幅な利益改善となった。



全体として、日本産業パートナーズ傘下の NAJHD による

経営により、矢継ぎ早な経営改革が進む中で、コロナ特需や 5G 普及などでマイクロ接合装置の拡大から売上が拡大、収益性も総利益率、営業利益率とも最高の利益率となった。



22/3 期 1%減収 13.7%営利増予想も、5G、コロナ対策等で電子機器拡大から収益増額期待

22/3 期会社予想は売上高 200 億円 (1.0%減)、営利 15.5 億円 (13.7%増)、経常利益 15 億円 (16.3%増)、税引利益 13 億円 (26.1%増) とした。税引利益の伸びが高いのは、21/3

[ここを入力]

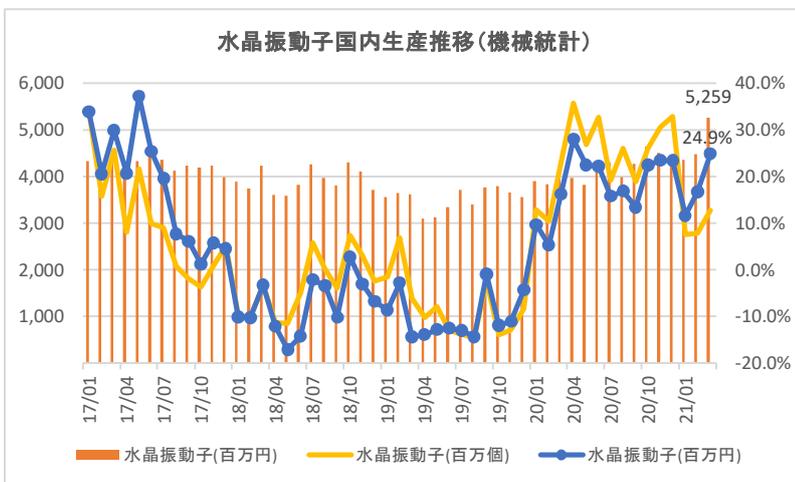
期に人員削減による事業改善費用 3.3 億円がなくなるため。部門別予想の開示はないが、コロナ対策の赤外線サーモカメラの一巡で電子機器が減収となる影響を加味したとみられる。

現状、電子機器は溶接機の更なる拡大が見込める。同社は接合 4 工法機器全てに対応出

来る総合メーカーであるが、22/3 期は 5G 基地局投資が継続、5G 端末では水晶振動子の装着個数が増大見通しにある。水晶振動子の 21 年 3 月の国内生産は単月で過去最高の 55.23 億円を記録、世界トップシェアのシーム溶接接合機の需要拡大は国内に加え台湾向けなども見込める。また、自動運転に使用される LiDAR のミラーデバイス（前面、後方、側面で 10 個搭載の可能性あり）でもシーム封止が採用されるなど、同市場も 2017 年市場規模 25 億円が 2025 年には 3330 億円に拡大予想など、更なる需要拡大が続こう。加えて 5G 端末では動画連続再生などで SoC 発熱量拡大に対し放熱対策からハイスペックスマホでヒートパイプに変えてベーパーチャンバの採用が増えている。しかも銅箔の薄膜化と高精度の気密封止が要求され、超

接合4工法機器のメーカー

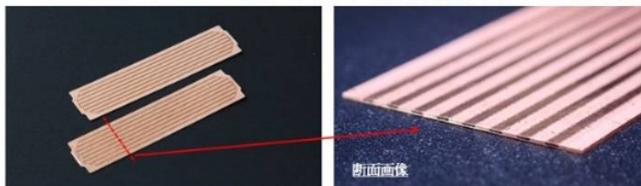
		抵抗溶接	パルスヒート	レーザー	超音波
原理		母材の抵抗発熱による金属の溶接	抵抗発熱体による熱伝導、半田付	レーザー光による溶接、はんだ付け、溶着	摩擦発熱による樹脂溶着、酸化膜破壊による金属接合
	加圧力	溶接電流	溶接電流	レーザー光	超音波
用途	金属	○		○	○
	樹脂		○	○	○
	はんだ	可(抵抗ロー付け)	○	○	可(高周波誘導加熱)
特長		・シンプルな構造 →装置が安価	・正確な温度プロファイル →仕上がり安定 ・急速昇温、冷却 →余分な熱を与えない	・非接触接合 →狭い箇所の接合が可能 ・消耗品が少ない →装置停止時間が少	・固相接合 →異種金属の接合が可能 ・一括接合 →タクトが速い
	スマートフォンアプリケーション例	水晶デバイス （全周溶着） メイン基板	振動モータ （コイル巻 はんだ付け）	カメラレンズ （レンズカバー レーザー溶着）	オーディオ用スピーカ （樹脂ケース 超音波溶着 （ターゲッティング））



[ここに入力]

音波金属接合の採用が増えている。ベーパーチャンバ市場も2020年の2.8億ドルが2027年には12.3億ドルに拡大する予測がある。EV/HEV向けでは軽量化に向けアルミワイヤハーネス製

ベーパーチャンバ（中空構造で流路配置された放熱板）



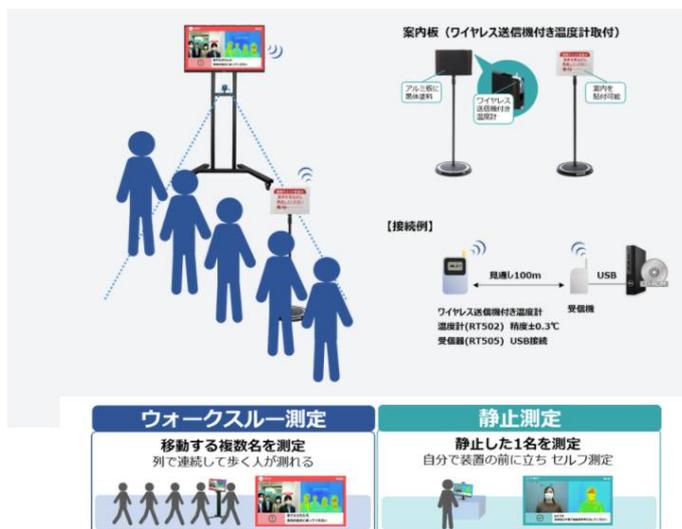
造時の銅・アルミ異種接合、バッテリーパック接合の需要拡大も見込める。さらに異種金属だけでなく熱可塑性 CFRP とアルミニウム合金を締結部品や接着剤を使わず直接接合する異種材接合技術を開発。接着剤やボルト等の機械的な接合では接合強度が弱く、これを克服でき小型情報機器や小型精密部品の分野で精密接合採用が期待される。



医療では赤外線サーモグラフィの品揃えを強化、また温度を監視して問題解決する感染症対策ソリューションビジネスへの拡大を加速させる。

情報システムは防衛省の新バッジシステム（自動警戒管制組織）の国産品の予算減少が継続も、NEC 向けに加え、富士通向け等にも納入を拡大させ、売上確保する見通し。

全体を通じ、受注残高も多く、電子機器の事業拡大で 22/3 期も増収増益を確保、会社計画を上回る収益が期待される。



株価は 22/3 期増益予想も増額含みで 2017 年高値 4070 円を目指す動きに

株価は 22/3 期も増益予想となり、当面 4/13 高値 3580 円をクリアし 2017 年 4 月高値

[ここに入力]

4070 円（会社予想 EPS460 円に対し PER8.8 倍）を目指す動きに。なおコロナ対策で様々な施設で赤外線カメラ導入が進むなど補助金・助成金対象の特需拡大となれば、標準的な税率で想定される EPS370 円に対しチノーなどの PER15 倍を参考に 5500 円も視野入ろう。

日本アビオニクス(6946)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
20/3期	16,805	-3.8%	83	-218.6%	25	-123.8%	76	245.5%	27.1	0.00
21/3Q1	3,699	8.9%	-40	赤小	-84	赤小	-174	赤小	-61.74	0.00
21/3Q2	5,444	26.3%	382	黒転	369	黒転	497	黒転	176.28	0.00
21/3Q3	5,325	47.3%	438	黒転	428	黒転	305	黒転	107.87	0.00
21/3Q4会予(1/28)	4,532	-17.3%	20	-96.9%	-13	赤転	-428	赤転	-151.59	0.00
21/3Q4修正会予(3/12)	5,532	0.9%	570	-12.4%	537	-14.2%	272	-61.7%	96.3	0.00
21/3Q4	7,162	30.7%	583	-10.4%	576	-8.0%	402	-43.5%	142.57	0.00
21/3H1	9,143	18.6%	342	-196.1%	285	-175.8%	323	-181.4%	114.54	0.00
21/3H2会予(10/29)	9,857	8.4%	458	4.3%	415	3.5%	-123	赤転	-43.72	0.00
21/3H2修正会予(3/12)	10,857	19.3%	1,008	129.6%	965	140.6%	577	22.0%	204.17	0.00
21/3H2	12,487	37.3%	1,021	132.6%	1,004	150.4%	707	49.5%	250.44	0.00
21/3期期初会予	18,000	7.1%	350	321.7%	280	1020.0%	200	163.2%	70.82	0.00
21/3期修正会予(10/29)	19,000	13.1%	800	859.3%	700	2700.0%	200	163.2%	70.82	0.00
21/3期修正会予(3/12)	20,000	19.0%	1,350	1526.5%	1,250	4900.0%	900	1084.2%	318.71	0.00
21/3期	20,195	20.2%	1,363	1542.2%	1,289	5056.0%	1,030	1255.3%	364.98	0.00
22/3期会予	20,000	-1.0%	1,550	13.7%	1,500	16.3%	1,300	26.1%	460.37	0.00
21/3期DO予(3/15)	20,000	19.0%	1,350	1526.5%	1,250	4900.0%	900	1084.2%	318.71	0.00
22/3期DO旧予(3/15)	21,000	5.0%	1,650	22.2%	1,550	24.0%	1,070	18.9%	378.89	12.00
22/3期DO予	21,000	4.0%	1,650	21.1%	1,600	24.1%	1,370	33.0%	485.16	0.00
23/3期DO旧予(3/15)	23,000	9.5%	1,950	18.2%	1,850	19.4%	1,280	19.6%	453.25	45.00
23/3期DO予	23,000	9.5%	1,950	21.1%	1,900	18.8%	1,400	2.2%	495.78	50.00



[ここに入力]

年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期 会予	21/3期 DO予 (3/15)	22/3期旧 DO予	22/3期 DO予	23/3期 DO予
売上高	21,442	18,707	17,460	16,805	20,195	20,000	20,000	21,000	21,000	23,000
売上総利益	4,613	3,872	3,880	3,978	5,354				5,650	6,200
販管費	4,593	4,581	3,950	3,895	3,991				4,000	4,250
営業利益	20	-709	-70	83	1,363	1,550	1,350	1,400	1,650	1,950
経常利益	-60	-764	-105	25	1,289	1,500	1,250	1,300	1,600	1,900
親株主帰属純利益	1,510	606	22	76	1,030	1,300	900	900	1,370	1,400
製品別売上情報	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期 会予	21/3期 DO予 (3/15)	22/3期旧 DO予	22/3期 DO予	23/3期 DO予
情報システム	12,149	9,674	11,641	11,920	12,396		12,800	13,000	13,000	13,500
電子機器	6,630	7,075	5,499	4,884	7,798		7,200	8,000	8,000	9,500
プリント配線板	2,662	1,957	329		0					
売上合計	21,442	18,707	17,460	16,805	20,195	20,000	20,000	21,000	21,000	23,000
セグメント営業利益	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期 会予	21/3期 DO予 (3/15)	22/3期旧 DO予	22/3期 DO予	23/3期 DO予
情報システム	45	-774	20	113	166		200	250	400	420
電子機器	506	582	30	-29	1,196		1,150	1,150	1,250	1,530
プリント配線板	-532	-516	-122		0					
営業利益	20	-709	-70	83	1,363	1,550	1,350	1,400	1,650	1,950
	0	0	0	0						
年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期 会予	21/3期 DO予 (3/15)	22/3期旧 DO予	22/3期 DO予	23/3期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上総利益	21.5%	20.7%	22.2%	23.7%	26.5%				26.9%	27.0%
販管費	21.4%	24.5%	22.6%	23.2%	19.8%				19.0%	18.5%
営業利益	0.1%	-3.8%	-0.4%	0.5%	6.7%	7.8%	6.8%	6.7%	7.9%	8.5%
経常利益	-0.3%	-4.1%	-0.6%	0.1%	6.4%	7.5%	6.3%	6.2%	7.6%	8.3%
親株主帰属純利益	7.0%	3.2%	0.1%	0.5%	5.1%	6.5%	4.5%	4.3%	6.5%	6.1%
セグメント営業利益率	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期 会予	21/3期 DO予 (3/15)	22/3期旧 DO予	22/3期 DO予	23/3期 DO予
情報システム	0.4%	-8.0%	0.2%	0.9%	1.3%		1.6%	1.9%	3.1%	3.1%
電子機器	7.6%	8.2%	0.5%	-0.6%	15.3%		16.0%	14.4%	15.6%	16.1%
プリント配線板	-20.0%	-26.4%	-37.1%							
営業利益	0.1%	-3.8%	-0.4%	0.5%	6.7%	7.8%	6.8%	6.7%	7.9%	8.5%

[ここに入力]